

2022 年度 アジア現地実習(ベトナム) 海外短期研修参加レポート

国際交流学科1年

私がアジア現地実習に参加して感じたことは大きく二つあります。

一つ目は、英語学習の必要性です。

ベトナムでは、外国人である私たちがベトナム語を話せないと分かる英語なら通じるだろうと英語で話しかけられる場面が多々ありました。もちろん翻訳機を使うこともできますが、海外で交流する際には英語が世界共通語であることを実感させられました。この出来事は、自身の英語力を向上させるための大きな推進力になったと思います。

また、お互い英語が第一言語ではないため、人により発音が少し異なり完全には意味が汲み取れないこともありました。そのような場合には、ゆっくり繰り返して発音したり簡単な単語を使ったりして伝えようとする気持ちが重要だと改めて感じました。

二つ目は、コミュニケーションが持つ可能性です。

私はベトナムに行ったことがなく、事前研修を受けている段階では海外での実習ということもあり、どこか身構えている部分がありました。しかし、実際に現地に行ってみると心配する必要は全くなく、彼らは非常に親切で、私たちが温かく歓迎してくれました。見ず知らずの外国人であるはずの私たちに対して積極的に話しかけたり、様々な場所に連れて行ったりして交流してくれました。

また、彼らと交流を深めるうち、彼らも私たちと何ら変わらない同世代の若者なのだと気づかされました。学校で友人と戯れあったり、休日にお洒落をして出掛けたりする日々に何も特別なことはありません。しかし、それは日本で私たちが過ごしてきた当たり前の日常でした。たとえ生まれ育った国や文化が違って、一人の人間として言葉を交わさずとも通じ合える気がしました。

そして、彼らと直接コミュニケーションを図りたいという思いはさらに多くの言語を学びたいという意欲に繋がりました。加えて、海外で実習した経験を経て他の国にも行ってみたいという夢も広がりました。このように、ベトナムでの現地実習に参加したことは私にとって忘れられない時間であり大きく成長するきっかけになりました。これからもこの経験を活かし、世界の架け橋として活躍できるよう努力していきたいです。

